

秋田市教育委員会 会 議 録

平成 2 4 年 4 月定例会

秋田市教育委員会平成24年4月定例会会議録

1 日 時 平成24年4月6日(金)
午後3時30分～午後5時15分

2 場 所 教育委員会室

3 出席委員 委員長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員(教育長)

(欠席委員なし)

4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
学校教育課教職員室長
教育研究所長
文化振興室長
スポーツ振興課長
生涯学習室長
生涯学習室参事
総務課副参事
総務課主席主査
総務課主査
総務課主査
総務課主事

5 議 題

【付議案件】

議案第13号 平成24年度秋田市の教育について

議案第14号 職員の人事について承認を求める件

6 議 事 午後3時30分開会

【職員紹介】

教育次長から、4月1日付けの人事異動後の幹部職員の紹介が行われた。

【平成24年4月臨時会会議録の承認】

平成24年4月臨時会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

委員長から今回会議録の署名委員として委員2名が指名された。

【付議案件】

議案第13号 平成24年度秋田市の教育について

委員長 議案第13号について事務局から説明願う。

総務課長 教育委員会では、平成20年度から「秋田市教育ビジョン」を、本市教育行政の基本方針としており、これに基づく当該年度の事務・事業等の取組と併せて、毎年度「秋田市の教育」として議決をいただいている。

資料は、1ページからの、秋田市教育行政の方針である「秋田市教育ビジョン」と、29ページから平成24年度の部門ごとの主要な事業をまとめた「平成24年度の主な取組」の2部構成となっている。前半のビジョンについては、昨年補足説明し、その後変更していないことから、説明は省略し、今年度の取組について、29ページ以降の「平成24年度の主な取組」と題した資料により説明する。

学校教育課長
生涯学習室長
スポーツ振興課長
文化振興室長
総務課長
学事課長

(資料に基づき説明)

委員 秋田市教育ビジョンは、市民に対してのものか。役所の内部資料か。

総務課長 秋田市教育行政の基本方針であり、携わる者の指針という位置づけである。

委員 資料31ページの学校評議員の活用について、学校教育懇談員と内容が同じようだが、どのような理由で名称を変更したのか。また、この事業に対し秋田市教育委員会としての予算措置はあるか。

学校教育課長 名称変更の理由については、元々学校教育法施行規則に学校評議員の制度が定められており、これは学区ごとに学校評議員を置いて連携を進めるものである。秋田市では平成14年にブロックごとに懇談員を設置した。10年間実施して見直しを図った際、各校長から自分の学区の方にはより深い話ができるという意見があった。本来の名称で学区ごとに設けることにより、日常的に相談できるようになると見込んだものである。また、予算については、学校評議員はあくまでボランティアであるので、謝金は設定していない。

委員 評議員は、複数校で兼務しても良いのか。

学校教育課長 兼務しても構わない考えである。小・中のどちらの評議員でもあることが、かえって連携の役割も果たすと考えられる。

委員 学校から地域に対する求めだけでなく、学校と地域との双方向の働きかけができることが望ましい。地域側が受け身にならないよう、うまく吸収してほしい。

社会教育部門の石井露月顕彰事業について、露月は正岡子規等とかかわりがあり、県外でも広く活躍しているので、そのような資料も多く扱ってほしい。

スポーツ振興部門の次世代アスリート育成事業について、良いと思うが、次期ビジョンの話が必要になってくると思う。児童数の減少により、将来的に行き詰まるのではないかとと思われる。部活動として育てるのか、地域全体で育てるのかというところがある。そういった観点も取り上げてほしい。

委員 資料45ページの学校施設の耐震化について、方針では「Is値0.3未満の学校施設は平成24年度までに耐震性を確保」とある。24年度の事業概要では川尻小しか掲載されていないが、Is値0.3未満である雄和中、秋田西中については確保できる予定になっているのか。

総務課参事 雄和中については、資料の「増改築(建て替え)事業」部分に掲載したとおりである。平成24年7月に完成予定であり、これにより4棟の耐震化が完了する。

秋田西中については、他事業に比べ少額なので資料に掲載しなかったが、300万円予算化している。ただし、3月に補強経費の見積りが出たが、想定以上のものとなった。教室として使用していない校舎であり、補強するか、木造校舎を解体した方が良いか、再度今後の方針について学校と話し合いが必要と考えている。

委員 秋田西中の校舎は、現在どのように使用されているのか。
総務課参事 部活動での使用や、倉庫の代わりとなっている。

委員 河辺小と秋田南中は耐震化の対象となる棟数が多い。平成27年度までの計画はどのようになっているのか。

総務課参事 河辺小は、耐震化が必要なのは4棟だが、今年2棟の工事を行うことで、4棟すべての耐震性が図られる。

秋田南中は、渡り廊下、管理教室棟が残っている。耐震化の前に大規模改造事業の予算を計上しているが、これは

耐震性がある特別教室棟に対するものであるが、床が地盤沈下により破断しており、現在使用禁止にしている。現在仮の教室を使用しているため、特別教室棟を改修し、元のスペースに特別教室を戻さないと、残りの棟の耐震化の補強ができない。できれば平成25～26年度で完成させたい。

委員 大規模な余震の恐れがあるので、子どもが使う校舎はなるべく早く耐震化をしてほしい。

46ページの小・中学校の図書の充実について、最低充足率が小・中で差があるので、経緯を教えてほしい。

総務課長 図書の充足率は、学校規模に応じて文部科学省が定めた標準冊数に対し、実際に各校が持っている割合である。なるべく差を解消するような配慮をしたい。各校で、古い図書を処分し新しい図書を補充するという形なので、数に見合ったバランスを意識した配分を行いたい。

委員 中学校並みにバランス良くできるよう、一律的でなく進めてほしい。

委員 資料29ページの「わたしたちのあんぜん」とは、低学年向けか。

学校教育課長 小学1年生を対象にしたものである。

委員 中・高学年でも、それぞれの段階で効果があるものがある。対象を広げたものがあっても良いのではないか。

学校教育課長 「わたしたちのあんぜん」は、本市では購入して配付している。防災指導に関しては、発達段階に応じた共通の資料は必要であると思う。独自に作成する自治体もあると聞いており、研究したい。

委員 40ページの、如斯亭の平成24年度発掘調査について、出土品の予想はあるのか。

文化振興室長 庭石や流路、主屋南側が改変されている状況である。このため発掘調査を行い、痕跡を確認して復元の際の設計に反映させるものである。

委員長 文化財イラストマップについて、どこに配付しているのか。

文化振興室長 文化施設はもとより、公民館など社会教育施設、学校、観光案内所等、市の主要な施設にはすべて配付し、活用を図っている。

委員長 印刷物は紙代だけだと割と少ない経費で済むと思う。小学生に持たせて、家庭でも見ることにより、教育に繋がると思うがどうか。

文化振興室長 活用面では、自分たちでまち歩きするような事業展開を推進できればと考えている。

委員長 教育環境整備部門の小・中学校特別支援学級新設整備事業について、先日、タブレット型のパソコンが障がい児に効果的という記事を見た。取り入れる計画はあるのか。

学事課長 障がいを持つ児童生徒に対し、携帯型情報端末など、新しいデバイスを活用した指導方法が今後学校現場で研究されていけば、本市の特別支援学級への導入も考えられる。

委員 35ページについて、スポーツという言葉から、競技というイメージが先に立つ。「高齢者を対象とした健康運動教室」とあるが、具体的にどのようなことを行うのか。

スポーツ振興課長 大前提として生涯スポーツの推進がある。健康運動教室や、高齢者を対象とした軽スポーツである。

委員 想定しているのは「軽スポーツ」か。

スポーツ振興課長 そのとおりである。

委員 西部市民サービスセンターで開催されている、高齢者を対象とした、ストレッチや筋トレなど軽スポーツでない運動の教室や、秋田県スポーツ科学センターでの講座でもあり、ライフスタイルで体を動かすことが秋田市でも広まれば良いと思う。

スポーツ振興課長 高齢者を対象とした健康運動教室でも、ストレッチや筋トレを行っているので、訂正する。

委員長 「美術館の街」は仲小路、中通地区に限定したものか。

それとも秋田市全体か。

文化振興室長 主として中心市街地の活性化を見込んだものとして考えている。

委員長 昨年度の千秋美術館特別企画展「KITTY.EX」は盛況だったが、「愛のヴィクトリアン・ジュエリー展」は別の客層になると思われるので、早めにPRしてほしい。喫茶店等にポスターを配付して、タイアップできるイベントではないかと思う。

文化振興室長 美術館とPRについて協議し、たくさんの観覧者でにぎわうように努めていく。

※ 議案第13号については、全員賛成により議決した。

議案第14号 職員の人事について承認を求める件

委員長 議案第14号について、事務局から説明願う。

総務課長 議案第14号「職員の人事について承認を求める件」について説明する。

(以降、資料に基づき説明)

※ 議案第14号については、全員賛成により議決した。

【教育長等の報告】

(1) 秋田市子ども読書活動推進計画(素案)の取扱いについて

生涯学習室参事 秋田市子ども読書活動推進計画(素案)の取扱いについて、3月定例会の意見を受け、パブリックコメントの期間を3週間に延長し、4月10日まで行う。また、62の育児関連団体に素案を送り、意見提出を求めている。次回定例会で審議いただきたいと考えている。

※ 秋田市子ども読書活動推進計画(素案)の取扱いについての報告は、以上のとおり終了した。

(2) 強風の被害状況について

総務課長 4月3日夜からの強風により、秋田市内は台風並みの被害を受けた。飯島中学校のように大規模なものから、軽微なものまで多岐にわたっている。市立学校では、小学校が44校中38校、中学校が23校中19校、高等学校が3校中2校で被害があり、飯島中学校では始業式・入学式の会場が多目的ホールに変更となった。また、体育施設12か所、文化施設7か所、社会教育施設5か所で、4日朝から軽微な被害については即日対応している。復旧のための経費についてはおおむね来週中に明らかになる。次回定例会で今後の対応について報告する。

※ 強風の被害状況についての報告は、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

教職員室長 今年度も、6月末から11月まで学校訪問を行う。予定を立てるため、委員のスケジュールを教えてください。

総務課長 教育委員会5月定例会の日程について、第4木曜日である5月24日(木)午後3時30分からを予定している。内容については現在調整中である。

午後5時15分閉会

以 上